

## 国際局における新型コロナウイルス感染症への対応について

国際局では、海外諸都市等とのネットワークを活かした物資調達や、海外事務所を通じた現地情報の収集・発信、市内在住の外国人に向けた情報提供等、市民の皆様の安心な生活に繋げるための取組を進めています。

### 1 海外諸都市等とのネットワークを活かした物資調達等の取組

#### (1) 海外諸都市との関係を活用した医療関連物資調達

市内のマスク不足の状況に対応するため、上海事務所を通じ、友好都市である上海市人民政府の協力の下、メーカー情報の収集や生産現場の確認などの活動を行い、これまでに457万枚のマスクを調達

##### ア マスク 130万枚の調達（4月2日納品）

健康福祉局により、市内の医療機関や福祉施設等へ配布

##### イ マスク 327万枚の調達（5月13日納品）

こども青少年局、教育委員会事務局により、市内保育所、放課後児童クラブなどの児童福祉施設及び学校等へ配布



上海事務所による生産現場の確認

【参考】NHK\*、tvkなど、複数のメディアで物資調達について報道

\*放映例（4/2 NEWS WEB、5/5 ラジオニュース、5/8 BS1国際報道、5/18 首都圏ニュース）

※上記のほか、上海事務所を通じたルート以外の医療関連物資調達の支援も実施

#### (2) 海外諸都市からの医療関連物資の寄附

本市との交流の歴史を培ってきた中国の友好都市等から医療関連物資の寄附の申し入れがあり、これまでに以下の寄附を受領

都市名	日付	物資	数量
上海市	令和2年3月30日	マスク	25,000枚
	令和2年4月6日	消毒液	900本（500ml入り）
	令和2年5月19日	KN-95マスク 医療用手袋	マスク10,000枚 手袋20,000枚
北京市	令和2年3月27日	消毒液	1,000本（500ml入り）
貴陽市(※)	令和2年6月11日	マスク	20,000枚

※貴陽市：2014年、2015年及び2018年に貴州省貴陽市で開催された博覧会等にて、本市職員が講演を行うなどの交流を実施

## 2 海外事務所を通じた海外諸都市の社会経済情勢等に関する情報収集・発信

市内企業・団体等の参考情報としていただくため、海外事務所を通じ、現地における市民生活への影響、経済活動の動向、感染症対策等について情報収集を行い、各種媒体を通じ発信

### (1) 調査レポート等の作成・発信 (19 件)

海外市場の動向や医療システムなど、調査・把握した情報をレポート等にまとめ、各海外事務所ウェブサイトですぐに発信

(調査レポート例)

- ・「NY の医療システムは感染拡大にいかに対応したのか」
- ・「コロナ危機とドイツ経済 ～旅行・ホテル業界、外食産業編～」



米州事務所ウェブサイトにおける  
NY州・市の現地情報レポート

### (2) オンラインセミナー (2 回)

市内の中小企業等を対象としたウェブを活用したセミナーにおいて、現地の生活や感染症対策などについて説明

(オンラインセミナー例)

- ・「ICT(情報通信技術)でコロナと共存する中国・上海」(5/29)



オンラインセミナーでの説明の様子  
(上海事務所)

### (3) その他の主な発信媒体

- ・海外事務所のメーリングリストを活用した現地進出市内企業等への情報提供 (6 回)
- ・神奈川新聞掲載「海外レポート」(2 件)
- ・神奈川新聞掲載「コロナ禍の世界 横浜市駐在員レポート」(2 件)
- ・本市ウェブサイト(「海外事務所による新型コロナウイルス関連レポート等」ページ) (19 件)
- ・国際局 Facebook (15 回)
- ・(公財)横浜企業経営支援財団 メールマガジン (2 回)

## 3 在住外国人に向けた取組

### (1) 在住外国人への情報発信

本市及び横浜市多文化共生総合相談センター((公財)横浜市国際交流協会(YOKE)に設置)のウェブサイトを活用し、在住外国人に向けた情報提供を実施

(主な発信媒体)

ア 本市ウェブサイト（在住外国人向け新型コロナウイルス感染症情報ページ）

（英語・やさしい日本語、4月9日～）

イ 横浜市多文化共生総合相談センター  
新型コロナウイルス関連情報サイト

（英語・やさしい日本語・中国語（簡体）、  
2月28日～）

・6言語によるAIチャットボット（自動  
会話プログラム）の導入（6月5日～）

ウ 国際局 Facebook（91回）

Main support measures related to the new coronavirus dis		
Target	Name	Description
All residents	Special Cash Payments	Each person registered in the Basic Resident as of April 27, 2020 (2nd year of Reiwa) is eligible for 100,000 yen as support for household finance.
Households raising children	Temporary special benefit for child-rearing households	10,000 yen per eligible child to households receiving child allowance (excluding special benefits). *No application necessary. Benefit amounts start from the date of registration of child allowance bank account start.

在住外国人に向けた  
新型コロナウイルス関連情報の提供

## (2) 在住外国人への相談対応

横浜市多文化共生総合相談センターと国際交流ラウンジが連携し、11言語で新型コロナウイルス感染症に関する問合せ・相談に対応

(主な対応状況)

・新型コロナウイルス感染症関連相談件数 248件（1月29日～6月23日現在）

(1) 医療相談・健康不安	61件
(2) 生活困窮・雇用相談	34件
(3) 特別定額給付金	57件
(4) 公的支援策（特別定額給付金除く）	46件
(5) その他問合せ	50件
	計248件

## (3) 特別定額給付金に関する情報提供・相談対応

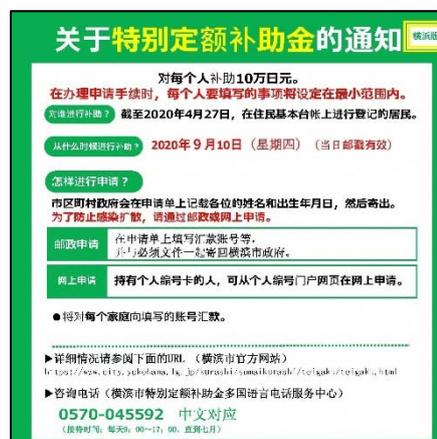
特別定額給付金に関する多言語版リーフレット（8言語）の作成及び横浜市特別定額給付金コールセンター多言語専用ダイヤルにおける多言語支援に、横浜市国際交流協会(YOKE)が対応

(主な対応状況)

・横浜市特別定額給付金コールセンター多言語専用ダイヤル

・対応件数 501件

（5月29日開設～6月23日現在）



特別定額給付金  
中国語（簡体）版リーフレット

#### (4) 区窓口等への通訳・翻訳機器の全区配備

新型コロナウイルスの影響に伴い、今後、生活相談等の一層の増加が見込まれるため、18区へのタブレット等通訳機器（計75台）及び翻訳機器（計36台）の配備を7月に予定



区窓口における通訳機器  
使用イメージ

#### 4 その他の国際局における主な対応

- ・パスポートセンター（市内2か所）について、夜間を除き受付を継続



パスポートセンター窓口における  
アクリル板の設置

#### ◆ 横浜市会を通じた海外とのつながりによる医療関連物資の寄附

横浜市会を通じた海外とのつながりにより、以下のとおり、医療関連物資を寄附いただきました。

内 容
・令和2年4月30日、台北駐日経済文化代表処横浜分処を通じて華僑団体から横浜市にマスク10,000枚寄贈
・令和2年5月12日、横浜日韓親善協会から横浜市にマスク2,000枚寄贈
・令和2年5月15日、日本アフリカ友好横浜市会議員連盟の仲介により、市内企業からIFE財団（理事：ルフィン・ゾマホン前駐日ベナン共和国特命全権大使）にマスク10,000枚寄贈